

オフィスサーベイシステムの概要

オフィス改革の「要求条件定義」局面 および「実施後の評価」局面 で使用する、汎用の、社員Webアンケート調査分析システム。

次の3種の調査で構成されています。

- ▶ 社員アクティビティ調査：社員がオフィスのどこで何を行っていたかを把握する。
- ▶ 満足度/要望調査：問題点と要望を把握する。
- ▶ 近接要望調査：ゾーニングに関する要望を把握する。

ワークスタイル基礎データの取得・現オフィスの問題点の抽出・改革の方向性の明確化・改善施策の緊急度の判定 など、オフィスに関する意思決定を行うために必要な説得力のある情報を提供。

アクティビティ調査に、最新の知的生産性指標機能を装備。



Web満足度/要望調査画面

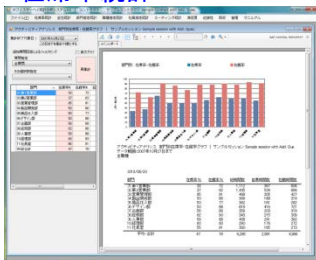


Web近接要望調査画面

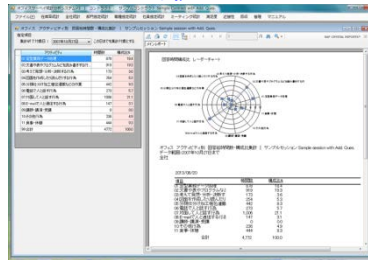


技術的特徴

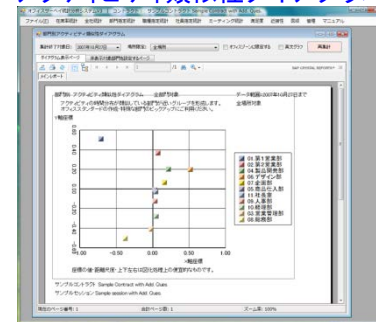
在席率統計



アクティビティ統計

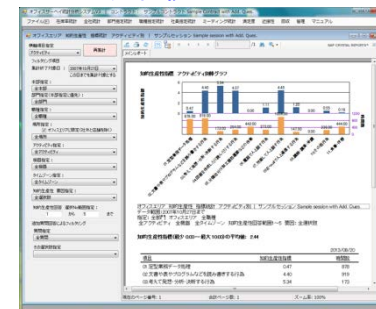


アクティビティ類似性ダイアグラム



- ▶ アンケートは専用のWebサイトで実施し、分析は専用のWindowsプログラムを使用してインターネット越しに弊社サーバーにアクセスして行います。いずれも自動バージョンアップ。利用者は常に最新のバージョンを使用できます。
- ▶ 相関分析・多変量解析を含む実践的で高度な統計分析手法。実践の中で有効性を確認し日々進化しています。
- ▶ 調査の質問項目は標準をセットしてありますが、ユーザー自身による大幅なカスタマイズが可能。
- ▶ 一回の調査を1セッションとして時系列で多数のセッションを保管し、それらを同時に参照して比較分析できます。ワークスタイルの変化、満足度評価の変化を長期にわたって参照することが可能。
- ▶ ほとんどの統計類はエクセル・PDFにダウンロード出来ます。ダウンロードした統計データを基に、ユーザー独自のグラフを作成し、説得力ある資料を作成することが可能
- ▶ アクティビティ調査は社員行動の面から現行のワークスタイルを把握するユニークな調査。これに「知的生産性指標機能」が加わり、現在のオフィスワークの知的生産性の水準を、社員意識の側から把握することができます。この調査をオフィス改善の事前と事後に行えば、改善施策の知的生産性観点からの効果測定が可能。

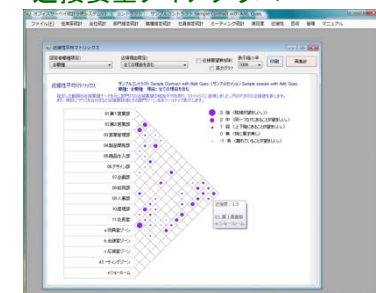
知的生産性統計



満足度重要度項目別統計



近接要望ダイアグラム



実績

- ▶ 2008年のサービス開始より、約30社のオフィス改革に際し、主としてオフィスコンサルタントの道具として、事前の要求条件定義局面や、事後の評価局面で使用され、高い評価を頂いています。
- ▶ 過去のサーベイ実施企業の業種分布
 - 製造業 : 44%
 - 流通業 : 10%
 - サービス業 : 41%
 - 公共 : 5%
- ▶ オフィスサーベイシステムを使用したケースで、日経ニューオフィス賞受賞事例3社。
 - 2013年日経ニューオフィス推進賞 A社
 - 2013年日経ニューオフィス奨励賞 B社
 - 2010年日経ニューオフィス推進賞 C社